

プレスリリース [2019年8月29日]

(計2枚)

町田市・日本弁理士会 連携協定締結記念シンポジウム  
『下町ロケット』と市内外の事例から学ぶ！明日から使える、中小企業の知財戦略  
を開催します

市では、市内事業者の知財を活用したチャレンジの促進に向け、5月に日本弁理士会と「知的財産の活用による町田市の地域活性化及び産業振興に関する協定」を締結し、各種事業に取り組んでいます。

「知財」と聞くと、「何となくハードルが高い」、「取得しても活用の方法がわからない」、というイメージをお持ちの方も多いかもかもしれません。

このシンポジウムでは、知財を活用した事業成長の一步目を踏み出すために必要となる基礎的な知識や、身近にある具体的な知財活用事例について、弁理士や市内の事業者がわかりやすく伝えます。

■日 時：10月8日（火）午後5時30分～8時30分

■場 所：町田市文化交流センター  
(原町田4-1-14 プラザ町田内)

■参加費：無料

■内 容：

【第1部】

- ・基調講演「中小企業の成長に必要な知財戦略」
- ・講 師：鮫島 正洋 氏（弁理士・弁護士）
- ・定 員：定員150名

小説やドラマでもお馴染みの「下町ロケット」に登場する神谷弁護士のモデルとなった弁理士・弁護士が、知財を活用した中小企業の成長戦略をわかりやすく、事例を交えて解説します。

【第2部】

- ・パネルディスカッション「中小企業が明日から実践できる知財活用の具体手法」
- ・パネラー：大久保 英敏 氏（玉川大学工学部教授、町田市産業振興計画策定委員長）  
木村 大介 氏（株式会社アジラ代表取締役）  
西谷 亨 氏（川崎市産業振興財団 知的財産コーディネータ）  
鈴木 一永 氏（日本弁理士会関東会会長）
- ・定 員：定員150名



“拡げる”チャレンジ

町田新産業創造センターに入居する AI ベンチャー・株式会社アジラによる知財の活用事例や、他社や大学が保有する知財を活用した製品開発の手法（「川崎モデル」）など、身近な知財の活用法を紹介します。

**【第3部】**

- ・交流会 ※軽食（立食形式）あり
- ・定員：定員 60 名

基調講演とパネルディスカッションの登壇者や、弁理士も参加する交流会です。「シンポジウムの内容を深掘りしたい」「基礎的な部分でもっと質問をしたい」という方も、「シンポジウムに参加している方と交流して新たな連携の種を見つけたい」という方も、どなたでも無料でご参加いただけます。

**■ 申込方法：**

WEB 申込フォームから申し込み、またはチラシ付属の参加申込書に必要事項を記入して FAX（03-3581-7420）で申し込み

※ 詳細については記者 BOX 内のチラシをご覧ください。

**■ 本件に関するお問い合わせ先**

経済観光部産業政策課 課長 増山 TEL 042-724-3296